

金ヶ瀬中学校区では、志教育の「かかわる」、「もとめる」、「はたす」の3つの視点を、発達段階を考慮しながら系統性をもたせ設定しました。また、具体的な取組では、異年齢交流による体験活動をとおして、小・中・高等学校のどの年代でも自己有用感を高められるようにしています。

異年齢交流による体験活動は地域の教育資源を土台としており、特に農業にかかわる教育資源を有効活用してきました。



小学校 ◇ダイコンを育てよう／3年（総合）◇
【かかわる】【もとめる】
○働くことの大切さを感じるとともに、感謝の心をもちあこがれをいただく。
高等学校 ◇大根の栽培指導／3年（野菜）◇
【かかわる】
○小学生に教えることで、自分が学んだことを活用する喜びを知り、自分の特性を知る。

小・高交流
ダイコン栽培

中・地域交流
稲作



中・地域交流
リンゴの収穫



中学校 ◇農業体験／3年（総合）◇
【もとめる】
○地域の一員としての自覚をもち、自分の将来設計を考える。

小・地域交流
サツマイモ栽培



小学校 ◇サツマイモ植え／4年（総合）◇
【かかわる】【もとめる】
○地域の方のかかわりの中でコミュニケーション力を高める。

高・地域交流
販売実習



高等学校 ◇販売実習／3年（総合実習）◇
【かかわる】
○地域の方への販売活動とおし、品物の説明など学んだことを活用する喜びを知る。



小・高交流
リンゴの収穫

小学校 ◇りんご園見学に行こう／1年（生活科）◇
【かかわる】【もとめる】
○収穫体験をしたり、説明を聞いたりした上で積極的に質問を行い、学習を深める。
高等学校 ◇川根農場リンゴ狩り／3年（果樹）◇
【もとめる】
○より良く生きるため、自己の特長を生かし人の役に立つ自分を求める。



小・高交流
牛舎見学

小学校 ◇牛見学に行こう／2年（生活科）◇
【かかわる】【もとめる】
○高校生の働く姿から仕事のやりがいや責任を果たすことの大切さについて考える。
高等学校 ◇牛舎見学の説明／3年（畜産）◇
【はたす】
○自分の果たすべき役割を自覚し、責任を果たす。



中・高交流
エダマメ、ニンジン
の種まき

中学校 ◇進路の選択／3年（総合）◇
【かかわる】
○農業高校の生徒とかかわるなかで、これまでの自分を見つめ、学ぶ意義を知る。
高等学校 ◇エダマメ、ニンジン
の種まき指導／3年（野菜）◇
【はたす】
○中学生の進路決定に役立つように、農業高校の実習について知らせる。



中・地域交流
地域防災訓練

中学校 ◇地域防災訓練／全学年（総合）◇
【かかわる】【はたす】
○防災訓練の中心的役割を果たし、自分の責任を実感する。

「かかわる」
地域のひととかかわることで、地域や人に誇りを持ち、これまでの自分をみつめ、学ぶ意義を知る。
「もとめる」
自分の将来を見据え、自分の目標を定める。
「はたす」
自分と社会をつなげて考え、自分の役割を果たす必要性と責任を実感するようになる。

将来を見据えて目標を定める
中学校=学ぶ意義

「かかわる」
地域のひととかかわることで、コミュニケーション力が高まり、人へ信頼し良好な人間関係を築くようになり、学ぶ大切さを知る。
「もとめる」
あこがれをいただき、なりたいたい自分を持ち始める。
「はたす」
自分の役割を果たす喜びを知り、自分に自信を持ち自分自身を認め、自立心が育つ。

あこがれとなりたいたい自分
小学校=学ぶ大切さ

役割

夢

異年齢交流による体験活動

自己有用感

自己有用感

志

「かかわる」
地域のひととかかわることで、学んだことを活用する喜びと自分の特性を知る。
「もとめる」
自分の果たすべき役割と人の役に立つ自分を求め、志をつかむ。
「はたす」
自分が社会の中で多くの人に影響を与えることを自覚し、自分の役割を果たす。

人の役に立つ自分を求め志をつかむ
高等学校=学ぶ喜び

地域の教育資源